

Creative Security Partner

CSP 通信 volume **39**

第51期のご報告

2022年3月1日 - 2023年2月28日

第52期は中期経営計画の 最終年度に向けて “増収・増益”を目指します!!

代表取締役 執行役員社長

澤本 尚志



Q 第51期の業績を振り返って いかがでしょうか

第51期は、新型コロナウイルス感染症による影響は徐々に緩和されつつあるものの、原材料やエネルギー価格の高騰などもあり依然として不透明な状況が続きました。

また、少子高齢化に伴う労働力不足により、新卒及び中途採用ともに厳しい状況が続く一方、離職防止並びに処遇改善に伴う人件費の増加は今後も続く見通しであり、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「Creative 2025」の目標達成に向け、持続的な成長と更なる企業価値の向上に努め「安心と信頼を創造する技術サービス企業」を目指し、事業を展開してまいりました。

「Creative 2025」の2年目となる第51期の業績は、売上高では前年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う臨時警備の反動や新型コロナウイルス感染症の影響の長期化などにより減収となり、利益面では、前述の減収の影響のほか、ベアスアップ等の処遇改善や資源価格の高騰などにより減益となり

ました。

その結果、全体では連結売上高は64,824百万円(前期比6.1%減)、利益面につきましては、営業利益は3,976百万円(同23.2%減)、経常利益は4,444百万円(同21.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,586百万円(同29.5%減)となりました。

Q 前年の主な取り組みを お聞かせください

昨今の企業経営において重要視されるサステナビリティに関する推進体制を構築することを目的として、昨年の3月1日付で「サステナビリティ委員会及び推進室」を設置しました。同時に「サステナビリティ基本方針」を策定し、本方針に則り、様々な取り組みを推進してまいりました。

環境面における具体的な取り組みとして、警備車両の脱炭素車両への切り替えやペーパーレス化の推進、制服や警備機器のリサイクルなど、環境に配慮した取り組みも推進してまいりました。

社会面においては、「人づくりと職場環境の整備」を重要課題に掲げ、多様な人材がお互いを認めあい、働きがいを実感する

職場環境を目指し、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの取り組みを進めております。

また今年の1月1日には、株式会社CSPパーキングサポートを存続会社として、新会社「株式会社CSPクリエイティブサービス」を発足させました。コインパーキングのトラブル対応・サポート業務を担う株式会社CSPパーキングサポートとコールセンター業務を担う株式会社CSPほっとサービスが合併することにより、当社グループの更なる総合力の強化を図ってまいります。

「人×技術」の高度なセキュリティサービスを実現するために、セキュリティプラットフォーム「梯(かけはし)」の開発を進めてまいりました。本サービスは、監視カメラを中心とした多くのセキュリティ機器をクラウドプラットフォーム上で統合制御するなど、最新の技術とノウハウにより、お客さまのご要望に合わせた効率的でかつ汎用性の高い警備サービスを提供します。「Creative 2025」で目指す「エリアマネージメント」構想に資するサービスとして品川地区の再開発事業への稼働を目指します。

前年に引き続き、新商品・新事業として様々な取り組みも展開してまいりました。「CSPライフサポートメール」をリニューアルし、従来の地震速報や津波速報のほか、気象庁の特別警報の通知などの新機能を追加しました。CSP警備ロボットは、カメラ映像のAI解析機能を搭載し、自律走行で巡回が可能な「C-SParX」として展開してまいりました。また、ドローン事業では屋内外の点検サービスや不正飛行ドローンを検知するカウントードローンサービスの提供を行ってまいりました。

Q 今後のCSPのサステナビリティ推進に ついて教えてください

前述の通り、サステナビリティ推進についてESGの観点から力を入れて取り組んでまいりました。

E (Environment) : 環境面では、気候変動によるリスクを緩和し、機会を拡大するため、当社事業におけるGHG(温室効果

ガス)排出量を算定し、中長期における排出削減目標を定めました。(※P4⑦に掲載)

警備業務で使用する車両を脱炭素車へのシフト、LED照明への切り替えなど、削減計画を策定し、脱炭素社会の実現へ向け取り組んでまいります。

S (Social) : 社会面では、人的資本の考え方から人材育成方針の見直し・社内環境整備を進め、DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) = 「誰も取り残さない」社会を実現するため目標を掲げて取り組んでいます。(※P4⑦に掲載)

G (Governance) : ガバナンス面では、2023年5月25日より監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行し、取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員を取締役会の構成員とすることで、取締役会の監督機能を強化しつつ、意思決定のスピードアップを図ることで、コーポレート・ガバナンスをより一層充実させることを目指してまいります。

Q 株主の皆さまへ メッセージをお願いします

今期の当社グループの見通しは、昨今の物価上昇に配慮した雇用環境の改善による人件費の増加などにより、厳しい経営環境が予想されますが、中期経営計画「Creative 2025」の最終年度に向け、品川地区を中心とした再開発事業への警備サービスの提供を目指してまいります。また、「withコロナ」における環境変化にも柔軟に対応し、引き続き持続的な成長と更なる企業価値の向上に努めてまいります。

各取り組みの推進により、最終年度目標の「売上高800億円、営業利益率8.5%」の達成を目指してまいります。今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をよろしくご申し上げます。

CSP Creative 2025

中期経営計画の進捗について

第51期(2023年2月期)を終え、最終年度の目標達成に向け様々な取り組みを推進します!

第51期は前年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う臨時警備の反動及びコロナ影響の長期化、ベースアップ等の処遇改善や資源価格の高騰などにより、“減収・減益”となりましたが、第52期は“増収・増益”を目標とするとともに、最終年度の目標達成に向け取り組みを推進してまいります。

5年計画 最終年度 (2026年2月期) 定量目標



CSPグループの目指す目標



第52期は増収・増益を目指す

| | 第51期 (2023年2月期) 業績予想 | 第51期 (2023年2月期) 実績 | 第52期 (2024年2月期) 業績予想 |
|---------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 連結売上高 | 660億円 | 648億円 | 675億円 |
| 連結営業利益 | 40.0億円 | 39.7億円 | 42.0億円 |
| 連結営業利益率 | 6.1% | 6.1% | 6.2% |

今年度の取り組みについて

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下にあったものの、「withコロナ」を前提とした社会環境が整ってきたことで、徐々に消費活動の正常化が進みました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料やエネルギー価格の高騰など、経済環境は依然不透明な状況です。

このようななか、少子高齢化に伴う労働力不足により、更なる業務の効率化・省人化が求められます。当社は右記①～⑦にあげた様々な取り組みを通じ、事業の持続的成長と更なる企業価値の向上に努めてまいります。

今期の当社グループの見通しは、昨今の物価上昇に配慮した雇用環境の改善による人件費の増加などにより、引き続き厳しい業績が予想されますが、前述の取り組みを推進することで、中期経営計画「Creative 2025」の最終年度における目標達成を目指してまいります。

今後の主な取り組み事項について

- ### 1 画像関連サービスの拡販

 - ▶VACSシステム
最新の「画像解析技術」を活用し、監視カメラの映像から様々な異常を自動検知
 - ▶車両ナンバー認識システム
AI(ディープラーニング)技術により、高速で通過する車両を撮影した映像からナンバープレートを検出し文字や数字を高い認識率でデータ化
- ### 2 大型開発事業に向けた取り組み

大規模な開発事業向けに「セキュリティコンサル」の提供を目指す。
※設計から日常の運用そして機器のメンテナンスまで警備に関するご要望をワンストップで受注

セキュリティプラットフォーム「梯(かけはし)」を活用し品川開発への提供を目指す。
- ### 3 プラットフォーム・ビジネスの推進

従来は当社が直接、警備サービスを提供していたが、警備プラットフォームを利用することで、より高度な警備サービスを高額の設備投資を実施せずに提供可能にする。

 - ▶各種警備プラットフォーム
 - ・画像センターサービス
 - ・エマージェ
 - ・CSP Cloud Center (CCC)
 - ・梯(かけはし)他
- ### 4 多様なニーズに応える新サービス

 - ▶サイバーセキュリティへの拡充
サービスラインナップ拡充
・CSPサイバーガード
・攻撃遮断くん
サイバーセキュリティ推進室新設

お客さま窓口をワンストップに。スピーディーな対応を実施するとともに、高度化・巧妙化が進むサイバー攻撃への対策や取得している各種データの活用等を通じた新たなビジネスモデルの展開を担当する。

 - ▶ドローンを活用した事業展開
様々な事業展開
設備点検事業、官庁向けサービス、ドローンスクール事業の運営と拡大
- ### 5 生産性向上を図る取り組み

 - ▶業務改善による生産性向上
 - ▶自律走行型警備ロボットの開発
- ### 6 M&Aの推進

「M&A」の推進により当社とのシナジーが望める企業をCSPグループに取り込み、グループ収益の最大化を目指す。
- ### 7 サステナビリティ推進活動

環境 (Environment)
TCFD開示 ▶ 指標と目標
気候変動によるリスクを緩和し、機会を拡大するため、当社は中長期における温室効果ガス排出削減目標を定めている。

 - ▶中期目標: Scope1及び2のGHG排出量を2027年度までに50%削減する(※2019年度比)
 - ▶長期目標: Scope1及び2のGHG排出量を2045年度までにゼロとする

社会 (Social)
人的資本 人材育成方針の見直し・社内環境整備の推進/従業員エンゲージメントの測定検討
DE&I D&IからDE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)へ
DE&I各種教育の実施 DE&I研修、各種意見交換会、講演会など年間約10項目のプログラムを実施予定

 - ▶中期目標

| | 2021年 | 2025年までに |
|---------|-------|----------|
| 女性管理職比率 | 3.5% | 6.0% |
| 女性係長級比率 | 10.0% | 15.0% |

| | 政府目標2021年までに | 当社目標2025年までに |
|---------|--------------|--------------|
| 男性育休取得率 | 30.0% | 50.0% |
| 有給休暇取得率 | 70.0%以上 | 80.0%超を維持 |

ガバナンス (Governance)
・ガバナンス体制の変更(2023年5月25日以降)
・ESGデータの開示の充実
・有価証券報告書への記載充実

岡田准一さん出演のCM第3弾 「未来の安心へ進む。篇」をリリース！

今年度の4月10日より、岡田准一さんを起用した企業TV-CM第3弾「未来の安心へ進む。篇」をリリースしました。前作までの重厚感があるネイビーブルーのブランドカラーを、未来・希望を想起させるフレッシュなスカイブルーにアップデートし、先進的なテクノロジーと人のスキルの融合を強みとしているCSPだからこそ生まれる膨大なデータと経験をプラットフォームでひとつにつなげ、「今日も何事も起きなかった」という安心を実現するという使命を社内外で共有するメッセージを込めています。

そして、「常識を超える、昨日までの安心を超える。」という力強いキーワードはそのままに、アップデートした世界のなかでは、警備隊員や警備用ロボット、ドローンの活躍を見守りながら歩みを進める岡田准一さんをシンボルとし、CSPの様々な事業や情報がつながる様子を描きました。



▶ CHECK IT OUT !

YouTube公式チャンネル「CSP OFFICIAL」にもアップしていますので、ぜひこちらでもご視聴ください。

30秒バージョン



15秒バージョン



メイキング映像



CSPのサステナビリティ

ホームページ「サステナビリティ」を全面リニューアル

2022年12月末に、コーポレートサイト内「サステナビリティ」を全面リニューアルしました。今回のリニューアルでは、ステークホルダーの皆さまに、よりわかりやすくお伝えできるようデザイン・ページ構成を大幅に見直しました。



「CSPのサステナビリティ」はコチラから

<https://www.we-are-csp.co.jp/sustainability/>



これまで開示してきた6つの「マテリアリティ（重要課題）」の内容を充実させ、経営陣からのメッセージを発信しています。

新たに、E（環境）S（社会）G（ガバナンス）の各取り組みをまとめ、事業活動における詳細の実績についてはESGデータ集として公開しました。

また、TCFD提言に沿った気候変動リスク及び機会に関する情報開示を行いました。

当社グループでは、今後もサステナビリティ活動の推進と積極的な情報開示に努めてまいります。

宣言・方針の策定と公開

当社は、創業の理念である「仕事を通じ社会に寄与する」「会社に関係するすべての人々の幸福を追求する」を全ての事業活動の基軸としています。その理念に基づき、各種宣言・方針を策定し、コンプライアンスに則った行動の実践を徹底しています。

CSPグループ企業倫理宣言
(2022年5月26日制定)

パートナーシップ構築宣言
(2022年9月1日制定)

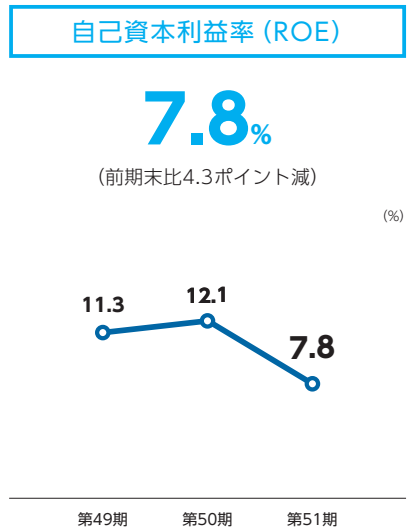
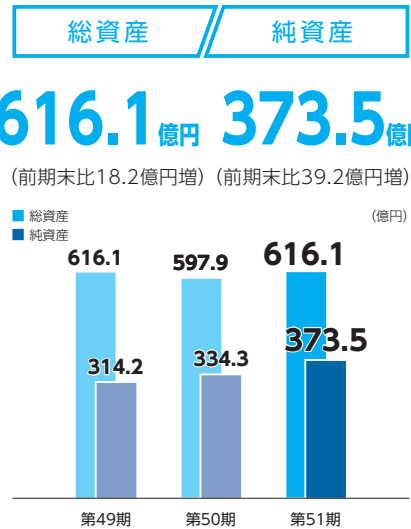
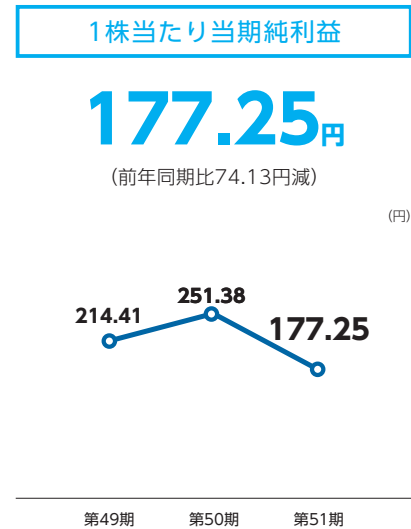
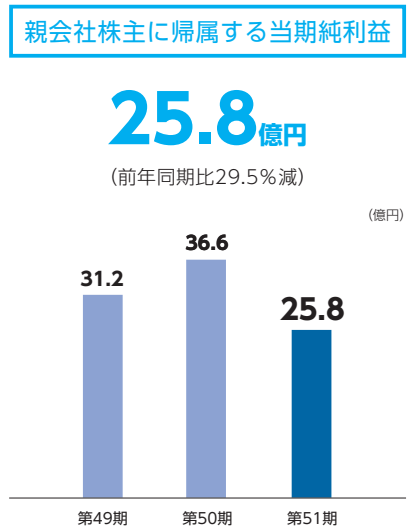
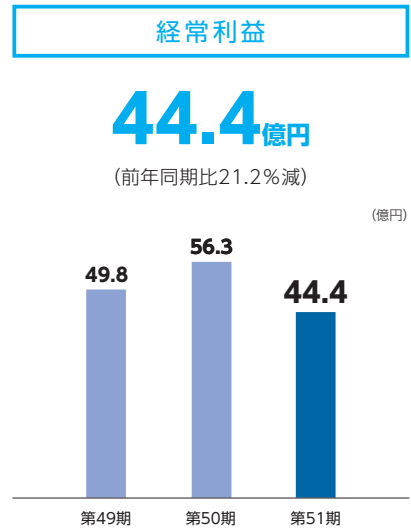
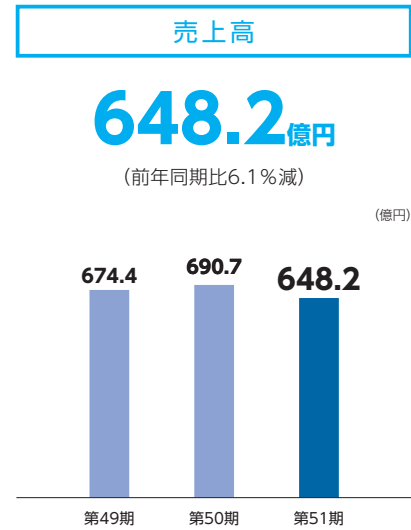
CSP調達方針
(2022年10月20日制定)

連結財務ハイライト

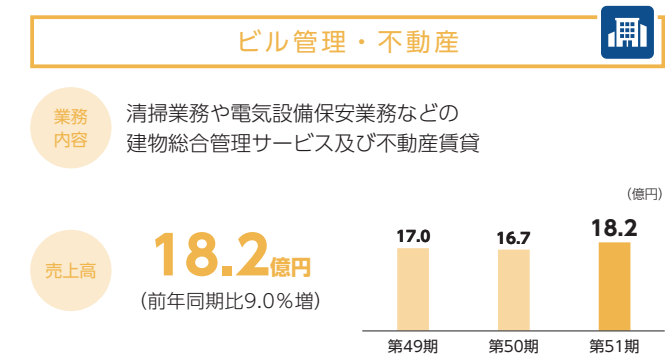
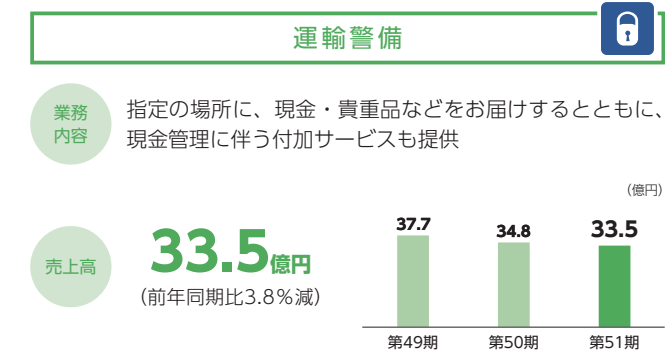
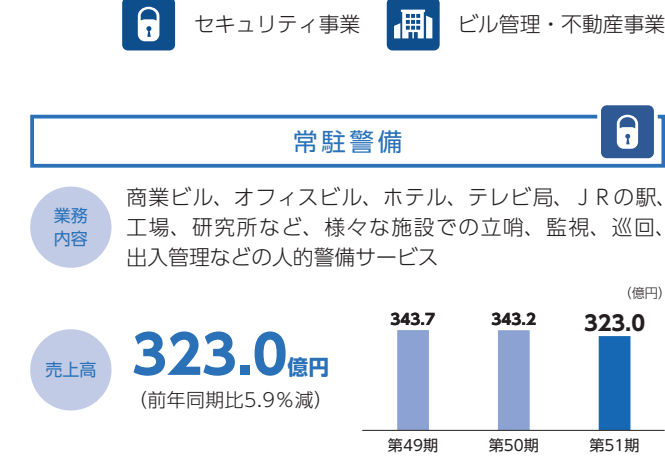
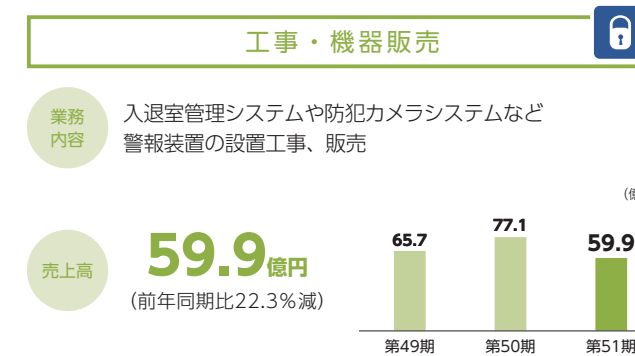
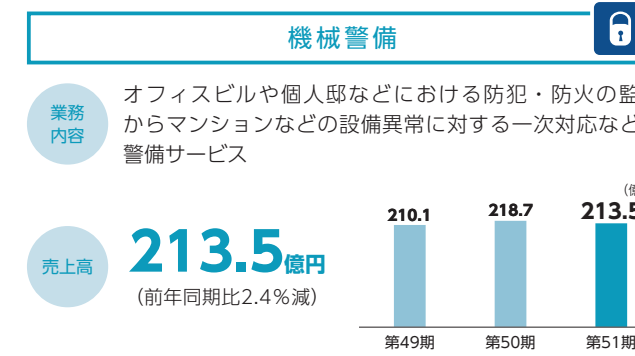
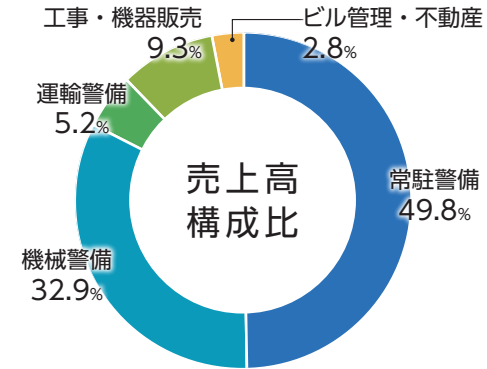
より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。
<https://www.we-are-csp.co.jp/ir/index.php>

CSP IR情報

主要経営指標の推移



セグメント情報

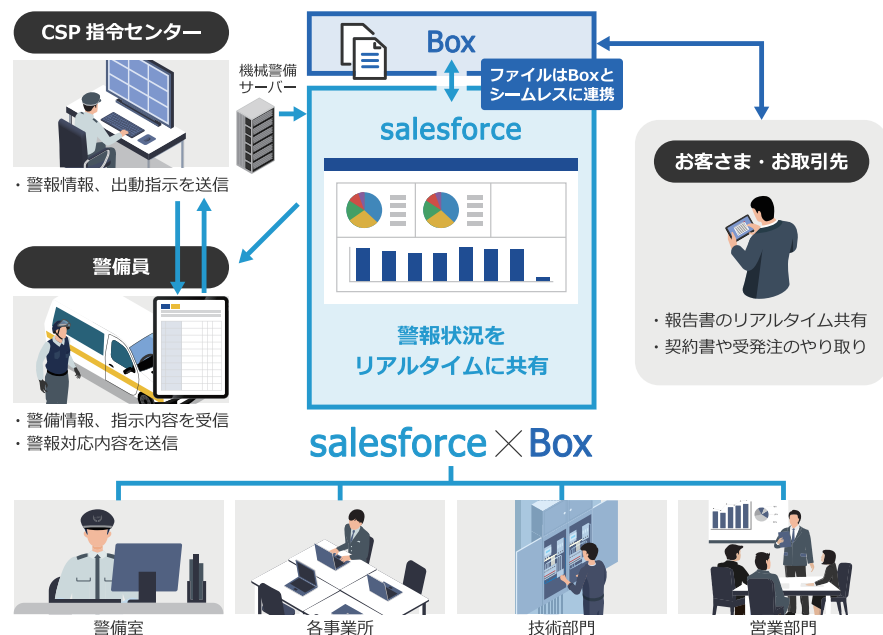


セキュリティ事業 ビル管理・不動産事業

機械警備業務における Salesforce Sales Cloud の導入 ～業務効率化による生産性向上とDX化へ向けて～

当社は、機械警備業務のデジタルトランスフォーメーション化（以下DX化）を目的に、Salesforceが提供する顧客管理支援サービス Sales Cloudを採用し、三井情報株式会社と共同で当社の既存システムとSales Cloudの連携をマルチクラウドで実現するために開発を行いました。

今後は、更なる業務効率化の推進とSales Cloudを警備サービスのDX化の基盤として、最新技術の導入やAIなどを活用した新しいビジネスモデルの創出を目指してまいります。



導入効果

- ✓ 機械警備に関するデータをSales Cloudへ連携させることで、帳簿の電子化、データ集計、分析などが自動処理され、リアルタイムの情報共有が実現、省力化により情報処理時間が約80%削減。
- ✓ 警備報告書や警備日報などの各種紙書類のペーパーレスで、A4換算で年間54万枚の削減。

株式の状況 / 会社概要 (2023年2月28日現在)

株式の状況

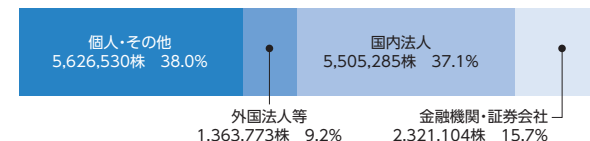
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 14,816,692株 |
| 株主数 | 11,717名 |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 東日本旅客鉄道株式会社 | 3,704 | 25.3 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,100 | 7.5 |
| セントラル警備保障社員持株会 | 533 | 3.7 |
| セントラルセキュリティリーグ持株会 | 494 | 3.4 |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND | 446 | 3.1 |
| 三井物産株式会社 | 445 | 3.1 |
| 光通信株式会社 | 433 | 3.0 |
| 株式会社三井住友銀行 | 310 | 2.1 |
| 竹花長雅 | 230 | 1.6 |
| 徳田伸子 | 223 | 1.5 |

(注) 1.持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
2.持株比率は、自己株式(192,810株)を控除して計算しており、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | | | | | |
|--------|---|----------------------|--|--------------------|---|
| 事業年度 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで | 公告の方法 | 当社のホームページに掲載する。 https://www.we-are-csp.co.jp/ | (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 定時株主総会 | 毎年5月開催 | 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 | (電話照会先) | ☎ 0120-782-031 |
| 基準日 | 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 | 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 | (インターネットホームページURL) | https://www.smtb.jp/personal/agency/ |

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

会社概要

| | |
|------|--|
| 商号 | セントラル警備保障株式会社 CENTRAL SECURITY PATROLS CO.,LTD. |
| 創業 | 1966年3月10日 |
| 設立 | 1972年4月19日 |
| 資本金 | 29億2,400万円 |
| 従業員数 | 3,715名 |

役員

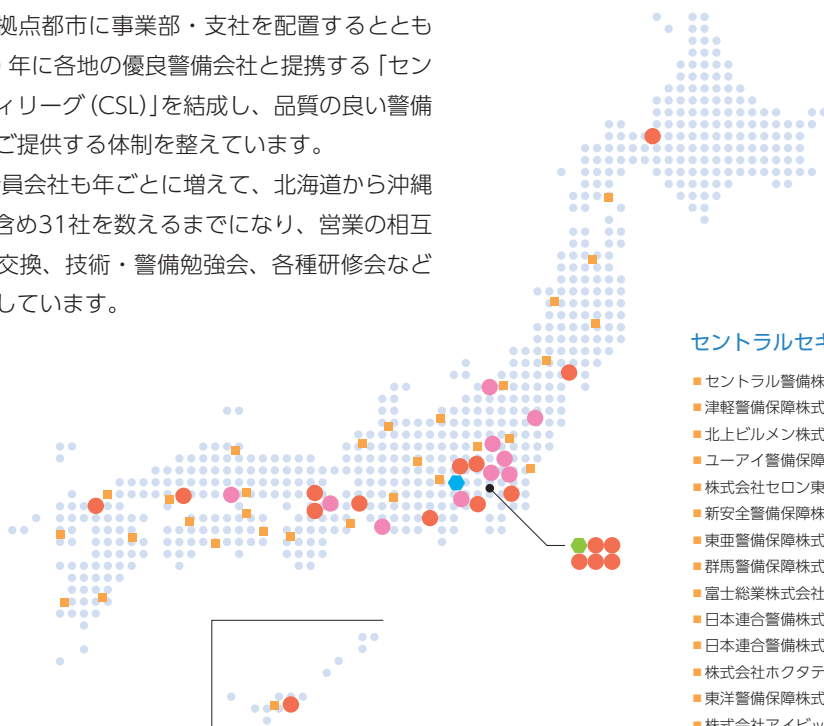
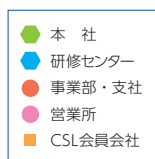
(2023年5月25日現在)

| | | | |
|---------------|--------|--------|-------|
| 代表取締役執行役員社長 | 澤本 尚志 | | |
| 取締役専務執行役員 | 小久保 正明 | | |
| 取締役常務執行役員 | 堀場 敬史 | 阪本 未来子 | |
| 取締役 | 市川 東太郎 | | |
| 取締役 監査等委員 | 田端 智明 | | |
| 取締役 監査等委員(社外) | 後藤 啓二 | 檜山 竹生 | 唐津 真美 |
| 常務執行役員 | 渡部 博幸 | 松本 直樹 | |
| 執行役員 | 石津 昭彦 | 立花 博美 | 高木 新二 |
| | 三浦 直樹 | 阿部 雅志 | 宮本 直行 |
| | 嶋原 公男 | 遠藤 武彦 | 増崎 昌子 |
| | 原田 茂雄 | 田邊 裕喜 | 八幡 誠 |
| | 三谷 武士 | 古野 暁 | |

CSPが中心となり、信頼のネットワークで安心をお届けします。

CSPでは、主要な拠点都市に事業部・支社を配置するとともに、1992（平成4）年に各地の優良警備会社と提携する「セントラルセキュリティリーグ（CSL）」を結成し、品質の良い警備サービスを全国にご提供する体制を整えています。

当初13社だった会員会社も年ごとに増えて、北海道から沖縄まで現在、CSPを含め31社を数えるまでになり、営業の相互協力、営業情報の交換、技術・警備勉強会、各種研修会など活発な活動を展開しています。



セントラルセキュリティリーグ（CSL）会員会社

- セントラル警備株式会社
- 津軽警備保障株式会社
- 北上ビルメン株式会社
- ユーアイ警備保障株式会社
- 株式会社セロン東北
- 新安全警備保障株式会社
- 東亜警備保障株式会社
- 群馬警備保障株式会社
- 富士総業株式会社
- 日本連合警備株式会社（山梨）
- 日本連合警備株式会社（長野）
- 株式会社ホクタテ
- 東洋警備保障株式会社（石川）
- 株式会社アイビックス
- 株式会社トーノーセキュリティ
- イセット株式会社
- 和歌山警備保障株式会社
- 株式会社山陽セフティ
- 北陽警備保障株式会社
- 株式会社CGSコーポレーション
- 東洋警備保障株式会社（徳島）
- 四国警備保障株式会社
- 株式会社セキュリティエヒメ
- 株式会社エフティオー
- 第一警備保障株式会社
- 株式会社ふよう長崎
- 日本連合警備株式会社（大分）
- 企業警備保障株式会社
- 株式会社ゼンケイ
- 株式会社南日本警備保障



セントラル警備保障 株式会社

株主優待制度のご案内

保有株式数に応じて「オリジナルQUOカード」を贈呈いたします。

※なお、1枚は岡田准一さんデザインのQUOカードとなります。

≫ **対象株主** 毎年2月末日及び8月31日現在の実質株主名簿に記載された100株以上の株式を保有する株主に贈呈いたします。

≫ **優待基準**

| ご優待内容 | 発行基準日 | ご所有株式数 | | |
|-------------|-------|---------------------|------------------------|------------|
| | | 100株以上～ 1,000株未満 | 1,000株以上～ 10,000株未満 | 10,000株以上 |
| オリジナルQUOカード | 2月末日 | 1枚 | 2枚 | 10枚 |
| | 8月31日 | (500円相当) | (1,000円相当) | (5,000円相当) |



オリジナルQUOカード

≫ **贈呈時期** 2月末日現在の対象株主には5月下旬、8月31日現在の対象株主には10月下旬に送付予定です。